



2024年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年6月14日

上場会社名 株式会社ラバブルマーケティンググループ 上場取引所 東
 コード番号 9254 URL https://lmg.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 雅之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 中川 徳之 (TEL) 03-6381-5291
 四半期報告書提出予定日 2024年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第2四半期の連結業績(2023年11月1日~2024年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	1,092	—	145	—	155	—	81	—
2023年10月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年10月期第2四半期 79百万円(—%) 2023年10月期第2四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第2四半期	57.28	56.45
2023年10月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2023年10月期より決算期(事業年度の末日)を3月31日から10月31日に変更いたしました。このため、2023年10月期は決算期変更により2023年4月1日から2023年10月31日までの7ヶ月決算となっており、第2四半期連結累計期間につきましては、四半期連結財務諸表を作成しておりません。そのため、対前年同四半期増減率及び前年同四半期の金額については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第2四半期	1,709	532	29.5
2023年10月期	1,405	574	39.3

(参考) 自己資本 2024年10月期第2四半期 503百万円 2023年10月期 552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年10月期	—	0.00	—	—	—
2024年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年10月期の連結業績予想(2023年11月1日~2024年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	—	100	—	100	—	60	—	41.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年10月期は決算期変更の経過期間となり、通期については、2023年4月1日から2023年10月31日までの7ヶ月間となっております。このため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年10月期 2 Q	1,446,775株	2023年10月期	1,446,775株
② 期末自己株式数	2024年10月期 2 Q	82,500株	2023年10月期	-株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年10月期 2 Q	1,421,843株	2023年10月期 2 Q	-株

(注) 当社は、2023年10月期より決算期 (事業年度の末日) を3月31日から10月31日に変更いたしました。このため、2023年10月期は決算期変更により2023年4月1日から2023年10月31日までの7ヶ月決算となっており、第2四半期連結累計期間につきましては、四半期連結財務諸表を作成しておりません。そのため、2023年10月期第2四半期の期中平均株式数 (四半期累計) については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述などについてのご注意)

本資料に記載されている予測数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2023年6月29日開催の第9回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、2023年10月期より決算期（事業年度の末日）を3月31日から10月31日に変更いたしました。それに伴い、2024年10月期（2023年11月1日から2024年4月30日）の比較対象となる2023年10月期第2四半期（2023年4月1日から2023年9月30日）の四半期連結財務諸表は作成していないため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや円安に伴う外国人観光客の増加等により、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、物価上昇やウクライナ情勢の長期化や中東情勢等の国際情勢の悪化もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。当社グループが事業を展開するマーケティング領域におきましては、従来からの市場成長に加え、オフラインからデジタルへの移行が加速しており市場環境は当社グループの事業に追い風となっております。

このような状況の下、当社グループでは「運用支援」、「運用支援ツールの提供」、「人材教育」といった当社グループ独自のソリューションを強みに、企業のマーケティング活動を総合的に支援してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,092,879千円、営業利益145,671千円、経常利益155,137千円、親会社株主に帰属する四半期純利益81,448千円となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

(SNSマーケティング事業)

企業のSNSアカウントの戦略策定から開設、運用代行、キャンペーンの企画・運用、広告出稿、レポート作成、効果検証までサポートするSNSアカウント運用支援サービス、SNSマーケティングを効率化するSaaS型のSNS運用支援ツールの開発・提供をしております。また、これらのノウハウを活かしてコンテンツ開発をしたSNSエキスパート検定講座の提供をしております。

当第2四半期連結累計期間におきまして、SNS運用支援の新規受注件数及び年間取引高が1,000万円以上を超えるロイヤルクライアント数が順調に増加しました。また、組織の効率化や人材の再配置、AIの活用を継続的に進めることにより生産性を高め、利益率の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高（「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含まない外部顧客への売上高（以下同じ））は1,051,411千円、セグメント利益は372,112千円となりました。

(DX支援事業)

マーケティングオートメーション・営業支援システム・顧客管理システムの導入・伴走支援、販売システム構築など、フロントオフィスからバックオフィスまで一気通貫で支援できる体制とし、顧客開拓に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は41,467千円、セグメント損失は13,034千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ303,769千円増加し1,452,448千円となりました。これは主に、現金及び預金が274,907千円、受取手形及び売掛金が53,389千円増加したことによります。固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ160千円増加し256,934千円となりました。これは主に、投資その他の資産が9,856千円増加、のれんが8,037千円減少したことによります。その結果、資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ303,930千円増加し1,709,382千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ268,542千円増加し852,324千円となりました。これは主に、短期借入金が100,000千円、未払法人税等が69,598千円、1年内返済予定の長期借入金が65,416千円増加したことによります。固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ77,244千円増加し324,340千円となりました。これは、長期借入金が77,244千円増加したことによります。その結果、負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ345,786千円増加し、1,176,664千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ41,856千円減少し532,718千円となりました。これは主に、欠損填補を目的とする減資による資本金237,826千円減少、資本剰余金143,231千円増加、利益剰余金94,595千円増加、また、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が81,448千円増加したこと、自己株式の取得に伴い124,327千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ274,907千円増加し、943,054千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、159,672千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益155,137千円その他、法人税等の還付額63,663千円による増加、売上債権の増加による53,155千円の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3,596千円となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出2,246千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、118,332千円となりました。これは主に長期借入による収入200,000千円、自己株式の取得による支出124,327千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年12月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

本資料に記述されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	668,146	943,054
受取手形及び売掛金	355,752	409,142
仕掛品	22,887	21,865
未収還付法人税等	66,907	12,506
その他	39,075	69,607
貸倒引当金	△4,091	△3,727
流動資産合計	1,148,678	1,452,448
固定資産		
有形固定資産	52,633	49,331
無形固定資産		
のれん	85,374	77,336
その他	3,522	5,165
無形固定資産合計	88,896	82,502
投資その他の資産	115,244	125,100
固定資産合計	256,773	256,934
資産合計	1,405,452	1,709,382

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,850	63,535
短期借入金	200,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	104,830	170,246
未払金	107,813	118,862
未払法人税等	11,985	81,583
賞与引当金	-	6,735
その他	110,302	111,360
流動負債合計	583,781	852,324
固定負債		
長期借入金	247,096	324,340
固定負債合計	247,096	324,340
負債合計	830,877	1,176,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	287,826	50,000
資本剰余金	262,376	405,607
利益剰余金	△6,417	169,626
自己株式	-	△124,327
株主資本合計	543,785	500,906
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	8,389	2,764
その他の包括利益累計額合計	8,389	2,764
新株予約権	-	3,089
非支配株主持分	22,399	25,957
純資産合計	574,574	532,718
負債純資産合計	1,405,452	1,709,382

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
売上高	1,092,879
売上原価	485,433
売上総利益	607,445
販売費及び一般管理費	461,774
営業利益	145,671
営業外収益	
為替差益	7,804
受取手数料	2,806
その他	1,886
営業外収益合計	12,497
営業外費用	
支払利息	2,990
その他	41
営業外費用合計	3,031
経常利益	155,137
税金等調整前四半期純利益	155,137
法人税、住民税及び事業税	81,583
法人税等調整額	△11,453
法人税等合計	70,130
四半期純利益	85,006
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,557
親会社株主に帰属する四半期純利益	81,448

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益	85,006
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△5,625
その他の包括利益合計	△5,625
四半期包括利益	79,381
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	75,823
非支配株主に係る四半期包括利益	3,557

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間	
(自 2023年11月1日	
至 2024年4月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	155,137
減価償却費	5,290
のれん償却額	9,180
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△420
受取利息	△86
支払利息	2,990
為替差損益 (△は益)	△6,900
売上債権の増減額 (△は増加)	△53,155
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,864
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,735
未払金の増減額 (△は減少)	11,035
未払費用の増減額 (△は減少)	△6,364
未払消費税等の増減額 (△は減少)	13,111
その他	△30,229
小計	120,186
利息及び配当金の受取額	86
利息の支払額	△3,188
法人税等の支払額	△21,076
法人税等の還付額	63,663
営業活動によるキャッシュ・フロー	159,672
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,348
無形固定資産の取得による支出	△2,246
その他	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,596
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	100,000
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△57,340
自己株式の取得による支出	△124,327
財務活動によるキャッシュ・フロー	118,332
現金及び現金同等物に係る換算差額	499
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	274,907
現金及び現金同等物の期首残高	668,146
現金及び現金同等物の四半期末残高	943,054

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)

1. 株主資本の金額の著しい変動

(資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分)

当社は、2024年1月26日開催の第10回定時株主総会において、資本金、資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分について決議し、2024年3月6日にその効力が発生しました。これにより、資本金が237,826千円、資本準備金が228,475千円減少し、その他資本剰余金に振替えました。

また、増加したその他資本剰余金446,302千円のうち94,595千円を繰越利益剰余金に振替え、繰越利益剰余金の欠損を補填しました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が50,000千円、資本剰余金が405,607千円、利益剰余金が169,626千円となっております。

(自己株式の取得)

当社は、2024年1月26日開催の株主総会決議において可決された特定の株主からの自己株式取得の議案の決議に基づき、自己株式82,500株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が124,327千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が124,327千円となっております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額
	SNSマーケティング 事業	DX支援事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,051,411	41,467	1,092,879	—	1,092,879
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	2,250	2,250	△2,250	—
計	1,051,411	43,717	1,095,129	△2,250	1,092,879
セグメント利益 又は損失(△)	372,112	△13,034	359,078	△213,406	145,671

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△213,406千円には、セグメント間取引消去△0千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△213,406千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。